

入札説明書

この入札説明書は、地方独立行政法人埼玉県立病院機構契約事務取扱規程（以下「契約事務取扱規程」という。）、地方独立行政法人埼玉県立病院機構における物品等又は特定役務の調達手続の特例を定める規程、本件調達に係る入札公告のほか、本件調達に関し一般競争入札に参加しようとする者（以下「競争入札参加者」という。）が熟知し、かつ、遵守しなければならない一般的事項を明らかにするものである。

1 調達内容

(1) 購入等件名及び数量

血管撮影システムの購入及び保守 一式

(2) 調達案件の仕様等

入札説明書及び仕様書のとおり

(3) 納入期限

令和4年2月28日

(4) 保守期間

納入日から72か月

(5) 納入場所

埼玉県立小児医療センター 埼玉県さいたま市中央区新都心1番地2

(6) 入札方法

本件入札は、地方独立行政法人埼玉県立病院機構一般競争入札執行要綱に基づき行う。

2 最低制限価格（又は調査基準価格）の設定

設定しない。

3 入札参加資格

(1) 契約事務取扱規程第3条第2項各号に該当しない者であること。

(2) 令和3・4年度埼玉県物品等競争入札参加資格者名簿に登載され、業種区分「物品の販売」のA等級に格付けされた者であること。

(3) 本件入札の公告日から落札決定までの期間に、埼玉県の契約に係る入札参加停止等の措置要綱（平成21年3月31日付け入審第513号）に基づく入札参加停止措置を受けていない者であること。

(4) 本件入札の公告日から落札決定までの期間に、埼玉県の契約に係る暴力団排除措置要綱（平成21年4月1日付け入審第97号）に基づく入札参加除外措置を受けていない者であること。

(5) 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（昭和35年法律第145号。以下、「薬機法」という。）第39条の規定に基づく高度管理医療機器等の販売業の許可を受けている者であること。

4 入札参加資格の確認

この入札に参加しようとする者は、次のとおり一般競争入札参加資格確認申請書(様式第1号。以下「確認申請書」という。)を提出し、入札参加資格の確認を受けなければならない。

(1) 提出期限

令和3年8月25日(水)午後5時(必着)

(2) 提出方法

確認申請書を後記18(3)の場所へ、郵送(簡易書留又は一般書留に限る。)又は持参により提出すること。郵送による場合は、封筒に「血管撮影システム 入札参加資格確認申請書在中」と朱書きすること。

(3) 提出書類

ア 確認申請書

イ 薬機法第39条の規定に基づく高度管理医療機器等の販売業の許可を証明する書類

ウ 入札保証金免除のための添付書類(入札保証金の免除を希望する場合に限る。)

(4) 結果の通知

競争入札参加資格の確認結果は、令和3年9月6日(月)午後5時までに確認申請書に記載のメールアドレスに、電子メールにより通知する。

なお、参加資格が「なし」の場合は、その理由を付する。

(5) その他

ア 確認申請書を提出した者は、確認申請書等の提出した書類について担当者から説明を求められた場合には、これに応じなければならない。

イ 提出書類は返却しない。

5 応札しようとする物品の提案

この入札に参加しようとする者は、応札しようとする物品について以下の(3)各号に掲げる書類(以下「提案書」という。)を提出し、確認を受けなければならない。なお、仕様書で定める要件は当機構が必要とする最低限の内容を示しており、提案書の内容がこれを満たしていないとの判定がなされた場合には、入札に参加できないものとする。

(1) 提出期限

令和3年8月25日(水)午後5時(必着)

(2) 提出方法

提案書を後記18(4)の場所へ、郵送(簡易書留又は一般書留に限る。)又は持参により提出すること。郵送による場合は、封筒に「血管撮影システム 提案書在中」と朱書きすること。

(3) 提出書類(各2部)

ア 薬機法第39条の規定に基づく高度管理医療機器等の販売許可を受けていることを証明する書類

イ カタログ、設置図面及び仕様書

ウ 日本語の取扱説明書

エ 作業工程表

オ 保守点検仕様書

カ その他必要と認めた書類（法的に必要とされる届出書類）

(4) 結果の通知

応札しようとする物品の確認結果は、4(4)の入札参加資格の確認結果と併せて通知する。

(5) その他

ア 提案書を提出した者は、提案書等の提出した書類について担当者から説明を求められた場合には、これに応じなければならない。

イ 提出書類は返却しない。

6 入札説明書、仕様書等に関する質問及び回答

入札説明書、仕様書等に関する質問及び回答は、以下のとおり行う。

(1) 受付期間

本件公告日から令和3年8月10日（火）午後5時まで

(2) 提出方法

質問書（様式第2号）をファクシミリ又は電子メールにより提出すること（電話により着信の確認を行うこと）。

(3) 提出場所

ア 入札説明書（「5 応札しようとする物品の提案」に関する事項を除く。）に関する質問

後記18(3)のファクシミリ番号又は電子メールアドレス

イ 入札説明書（「5 応札しようとする物品の提案」に関する事項に限る。）及び仕様書に関する質問

後記18(4)のファクシミリ番号又は電子メールアドレス

(4) 回答の方法

当機構の本件入札に関するホームページに掲示する。

(5) 回答の日時

令和3年8月18日（水）午後5時までに掲示する。

7 入札保証金

別紙1「入札保証金について」のとおり

8 入札書の提出

4及び5により入札参加資格の確認を受けた者（以下「競争入札参加者」という。）又はその代理人（以下「競争入札参加者等」という。）は、以下のとおり入札書を提出しなければならない。

(1) 入札書提出期限

令和3年9月13日（月）午後5時（必着）

(2) 入札書の提出方法

ア 郵送（簡易書留又は一般書留に限る。）又は持参により提出する。

イ 入札書は、二重封筒に封入しなければならない。入札書（別紙「入札金額内訳」を含む。以下同じ。）を中封筒に入れて密封の上、当該中封筒の封皮には氏名（法人の場合はその名称又は商号）を記載し、外封筒に入れて密封の上、当該外封筒の封皮には「令和3年9月14日開札 血管撮影システム 入札書在中」と記載しなければならない。

ウ 初度の入札で予定価格の範囲内で有効な入札がなかった場合は再度入札を行うので、再度入札に参加する者は初度入札用の入札書及び再度入札用の入札書をそれぞれ封入すること。その際、中封筒の封皮に「初度入札」・「再度入札」の区別を記載すること。再度入札を辞退する場合は、再度入札用の入札書に代わり入札辞退届（様式第5号）を封入すること。

エ 中封筒の封皮に「初度入札」・「再度入札」の区別が記載されていない場合は、初度入札の開札の際にその両方を開封し、記載された入札金額が低額であるもの又は入札辞退届が封入されたものを再度入札とみなし、それ以外のものを初度入札とみなす。

オ 外封筒内に、中封筒又は入札書が1通しか封入されていない場合は、その入札書は初度入札についてのものとみなし、再度入札については辞退したものとみなす。

(3) 入札書の提出場所

後記18(3)の場所

(4) 入札書の作成要領

入札書は、本件公告とともに掲示されている入札書（様式第3号及び別紙）を用い、以下のア～エの事項を記載すること。

ア 入札書の作成年月日、入札金額（算用数字により記述し、最上位桁の左に¥を付すこと）、くじ入力番号（001～999の任意の3桁の数字）

イ 別紙「入札金額内訳」の各金額

ウ 競争入札参加者本人が入札する場合は、その住所及び氏名（法人にあっては、その所在地、名称又は商号及び代表者の職・氏名）並びに押印（外国人の署名を含む。以下同じ。）

エ 代理人が入札する場合は、競争入札参加者本人の住所及び氏名（法人にあっては、その所在地、名称又は商号及び代表者の職・氏名）、並びに当該代理人の氏名及び押印

(5) 代理人が入札する場合は(4)で作成した入札書と併せて、委任状（様式第4号）を提出しなければならない。なお、「代理人が入札する場合」とは、当該代理人に入札金額を決定するなどの入札に関する意思決定が委任されている場合をいい、競争入札参加者本人が(4)ウにより作成した入札書を、作成者以外の者が持参する場合は委任状は不要である。

(6) 落札決定に当たっては、入札書に記載された入札金額に当該金額の10パーセントに相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数

金額を切り捨てるものとする。)をもって落札金額とするので、入札者が消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額を記載すること。入札金額内訳の各金額も同様である。

9 入札の無効

次のいずれかに該当する入札は、無効とする。

- (1) 入札参加資格のない者がした入札
- (2) 所定の入札保守金を納付しない者がした入札又は納付した入札保証金の額が所定の率による額に達しない者がした入札
- (3) 公告で定められた方法以外の方法で入札書を提出した者がした入札
- (4) 入札書と併せて入札見積金額内訳書の提出が求められた入札において、不備な入札見積金額内訳書を提出した者がした入札
- (5) 談合その他不正行為があったと認められる入札
- (6) 虚偽の確認申請書、確認資料又は資格審査資料等を提出した者がした入札
- (7) 入札の辞退を申し出て、その申し出を受理された者がした入札
- (8) 入札者の押印がない入札書による入札
- (9) 記載事項を訂正した場合において、その箇所に押印のない入札書による入札
- (10) 入札金額を訂正した入札書による入札
- (11) 押印された印影が明らかでない入札書による入札
- (12) 記入すべき事項（別紙「入札金額内訳」の各金額を含む。）の記入のない入札書又は記入した事項が明らかでない入札書による入札
- (13) 代理人で委任状を提出しない者がした入札
- (14) 他人の代理を兼ねた者がした入札
- (15) 2以上の入札書を提出した者がした入札又は2以上の者の代理をした者がした入札
- (16) 前各号に定めるもののほか、この公告に示す事項に反した者がした入札

10 開札日時

令和3年9月14日（火）午前9時

11 開札への立会い

開札への立会いは、不要とする。

なお、特に立会いを希望する者は、確認申請書の余白に立会いを希望する旨を付記することにより、開札に立ち会うことができる。

その場合において、立会者の集合すべき場所、日時等は、入札執行者から通知する。

12 落札者の決定等

- (1) 予定価格の100/110以下の価格で、最低の価格をもって入札をした者を落札者とする。

なお、本件入札にあつては、「購入と保守の合計に係る予定価格」と「購入に係る予定価格」を定め、「購入と保守の合計に係る入札金額」が「購入と保守の合計に係る予定価格」の範囲内（100/110以下）にあり、かつ、「購入に係る入札金額」が「購入に係る予定価格」の範囲内（100/110以下）にある者で、「購入と保守の合計に係る入札金額」が最低の価格であるものを落札者とする。

- (2) 落札とすべき同額の入札をした者が2者以上あるときは、くじにより落札者を決定する。くじは、別紙「電子入札くじについて」のとおり実施する。電子くじの実施に当たっては、入札参加者が入札書に記載したくじ番号を用いるものとし、記載がない場合には「999」を用いるものとする。

13 再度入札

落札者がいない場合は、再度入札を行うものとする。

再度入札は1回とする。

初度入札において、無効の入札をした者は、再度入札に参加することができない。

14 契約保証金

別紙2「契約保証金について」のとおり。

15 支払条件

発注者は、適法な代金請求書を受領した日から30日以内に当該代金を受注者に支払うものとする。

16 現場説明会

開催しない。

17 契約の締結に係る留意事項

この調達の契約が、地方独立行政法人埼玉県立病院機構理事会規程の定めにより理事会の議決に付さなければならない契約（予定価格が7000万円以上の動産の取得）に該当する場合は、当該調達契約について仮契約書を取り交わし、理事会の議決後に本契約に切り替えるものとする。

18 その他

- (1) 競争入札参加者又は契約の相手方が本件の調達に関して要した費用は、すべて当該競争入札参加者又は当該契約の相手方が負担するものとする。

- (2) 本件入札は、以下の者が執行する。

所属 地方独立行政法人埼玉県立病院機構

職・氏名 本部長 高窪 剛輔

- (3) 確認申請書及び入札書等の提出場所、契約条項を示す場所、入札説明書及び仕様書等の交付場所並びに入札説明書（「5 応札しようとする物品の提案」に関する事項を除く。）及び契約事務に関する問合せ先

ア 所在地 〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-1-3 衛生会館
3 階

イ 機関名 地方独立行政法人埼玉県立病院機構本部

ウ 担当者 医事・契約・訟務担当 野口

エ 受付時間 平日（日曜日、土曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日を除く日をいう。以下同じ。）の午前8時30分から午後5時まで（正午から午後1時までを除く。）

オ 電話番号 048-830-5985（直通）

カ ファックス番号 048-830-4905

キ 電子メールアドレス a5970-06@saitama-pho.jp

- (4) 提案書の提出場所並びに入札説明書（「5 応札しようとする物品の提案」に関する事項に限る。）及び仕様書に関する問合せ先

ア 所在地 〒330-8777 埼玉県さいたま市中央区新都心 1 番地 2

イ 機関名 埼玉県立小児医療センター

ウ 担当者 用度担当 町田

エ 受付時間 平日の午前8時30分から午後5時まで（正午から午後1時までを除く。）

オ 電話番号 048-601-2200（代表）

カ ファックス番号 048-601-2201

キ 電子メールアドレス sc.yodo@saitama-pho.jp

- (5) 確認通知書を受領した後、入札書の提出までに入札を辞退する場合は、令和3年9月13日（月）午後5時（必着）までに入札辞退届（様式第5号）を郵送（簡易書留又は一般書留に限る。）又は持参により(3)の提出場所に提出すること。郵送による場合は、封筒に「血管撮影システム 入札辞退届在中」と朱書きすること。

- (6) 天災が原因等で入札・開札事務が処理できない場合は、入札・開札を延期する。その場合は、電話、ファクシミリ等により、必要な事項を連絡する。

- (7) 妨害、不正行為、連合その他入札を公正に執行することができない事由が生じ、又は生じる恐れがあると認められたときは、入札を延期し、又は入札を取りやめることがある。その場合は、その旨を入札参加者に対して通知する。

- (8) 入札をした者は、入札終了後において、仕様書及び契約書（案）等について、不明を理由として異議を申し立てることができない。